



日本に来て一番嬉しかった事

高 強
GAO QIANG

私は有限会社エムメタルテック研修生の高強と申します。会社は静かな山の中にあり、緑がととても多いです。平野に生まれた私は、山での生活をとても新鮮に感じています。

2007年2月18日、中国で言う「春節」を私は日本で過ごしました。大晦日、社長家族と私達は一緒に餃子を食べる約束をしました。そして私達の小さな台所はととてもにぎやかなものとなりました。

先輩の王さんは、料理がとても上手です。野菜炒めが得意で、私達の為に何種類も作ってくれました。私達は餃子を作る事にしました。餃子を包んでいるときに、丁度奥さんが入ってきました。「私も手伝いましょうか？あまり出来ないけど、ちょっと勉強するわ。」そう言って、私達を真似て奥さんもひとつ作りました。「ああ、本当に難しいね。これ見て、みんな作ったのと全然ちがうよ」「奥さんが作ったのは餃子の親戚ですね！」と私が言いました。そして台所は、楽しい笑い声に包まれました。みんな心から、幸せいっぱいの声です。

食事は夜7時頃始まりました。先ず社長より、乾杯のあいさつです。「今日私はこうして初めて、中国のお正月をあなたたち研修生と一緒に迎える事ができて、とても嬉しく思っています。皆さん新年おめでとう、乾杯！」皆で新年を祝い、私達は乾杯をしました。「皆さんは

毎日一生懸命仕事をして、今日もこんなに色々な料理を作ってくれて、本当にありがとうございます。中国の新年おめでとうございます。」そう社長のお姉さんが言いました。皆研修生として来日し、家族も友達もいない環境の中で、仕事を頑張ったり、社長家族の為に料理を作ってお馳走したりする事は、私達にとって当然のことです、そう私は思いました。「うん～美味しい、美味しい！これも、これも、中国料理は本当に特別な味をしているね。」皆がそう言ってくれました。楽しく温かい雰囲気に入れながら、大晦日の夜は過ぎていきました。

時間が経つのは速いです、特に「楽しいひととき」はそう感じます。今年の大晦日は、いつものように中国で過ごす事はできませんでした。しかし、今年もまるで家と一緒に、大勢で揃って食べる事ができました。その夜、嬉しくて嬉しくて、私は日本に来て初めて興奮で眠る事が出来ませんでした。その日から、料理も、ビールも、社長も、研修生も、日本人も、中国人も、区別なく皆家族になりました。初めて日本で中国の新年を祝い、なんだか不思議な感じでしたが、新鮮にも感じました。この気持ちはとても得難いものだと思います。皆さん、誰か私より幸せな人はいます？もっと嬉しい出来事がありますか？

・区 分 技能実習生
・国 籍 中国
・職 種 塗装
・受入れ企業 有限会社エムメタルテック
・受入れ団体 情報リンク協同組合